SPACE
STRATEGY
FUND

ステージゲート評価結果

技術開発テーマ名	国際競争力と自立・自在性を有する物資補給システムに係る技術 B) 商業物資補給機と商業宇宙ステーションのドッキングシステムの検証技術
実施機関名（代表機関）	株式会社ＩＨＩエアロスペース
研究代表者名	石川 拓規
技術開発課題の名称	自動ドッキング機構のアクティブ機構検証システムの開発
評価の概要	公募要領等に示されたステージゲートの観点に照らして、技術開発計画は予定通りに進捗しており、優れた成果が得られている、またはその見通しが得られていることから、技術開発を継続すべきである。詳細は下記のとおり。 ➢ 本技術開発課題については、ドッキング検証システム技術の開発を進めるために必要なシステム検討作業が完了し、ドッキングシステムの検証要求書や検証装置への要求仕様書・検証計画等が適切に制定されていることを確認し、詳細設計フェーズに移行可能であると判断した。 ➢ 一方で、商業宇宙ステーション事業者等からの契約確保に関しては、NASAの方針の見直しが発生していることもあり、「高い確率で見込める」状況には至っていない。引き続き、本システムの供試体となるドッキング機構（JDS）の優位性・差別化を図ることに取り組みつつ、契約確保の見通しを得ることが求められる。 ➢ また、安全/品質保証要求に関するNASAの要求追加による設計変更は、コスト面で潜在的なリスクであるため、本システムの低コスト化を鑑み、早期にNASA要求の見通しを得ることが重要である。

（参考）審査会 構成員

座長 （担当PO）	中須賀　真一 立命館大学　総合科学技術研究機構　教授
委員	青木　英剛 一般社団法人Space Port Japan　創業理事兼CEO
委員	青木　隆平 東京理科大学　研究推進機構　総合研究院　嘱託教授
委員	佐宗　章弘 学校法人名城大学　学術研究支援センター　産官学連携領域長
委員	田中　哲夫 一般財団法人リモート・センシング技術センター　監事
委員	村上　淳 株式会社 サテライト・ビジネス・ネットワーク　代表取締役社長

敬称略、座長を除き、委員は五十音順
利益相反マネジメント規程に則り、審査委員は、利益相反がある技術開発課題についての審査をしていない